

ことでん活性化協議会

平成22年3月23日設置



概要

ことでんは、通勤・通学・買い物など住民の日常生活はもとより、車を持たない学生や高齢者にとっても無くてはならない移動手段であるものの、モータリゼーションの急速な普及などにより、利用者は減少傾向にある。地域の公共交通として将来にわたって維持していくためには、利用者の視点に立った交通環境を整備し、利便性の向上を図る必要がある。このため、ことでん活性化協議会では、ことでんを中心とする地域公共交通ネットワークの利便性及び結節性の向上に向けた、現況交通実態調査、利用者ニーズ把握調査、交通結節点の整備に関する調査等を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・線名、営業キロ、車両数
琴平線(高松築港～琴平)32.9km、42両
長尾線(高松築港～長尾)14.6km、18両
志度線(高松築港～志度)12.5km、20両
- ・輸送人員 2,726万人(昭和49年度)
→1,253万人(平成21年度)

○地域公共交通の課題

- ・利用者を増加させるための、利便性や結節性の向上
- ・大量輸送と定時制に優れた基幹的な交通インフラとしての機能向上

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査
- ・交通結節点の整備に関する調査

○地域公共交通総合連携計画の策定

- ・パーク&ライドによる利便性向上の検討
- ・サービス水準・乗り継ぎ改善による利便性向上の検討
- ・新駅設置による利便性向上の検討
- ・駅前広場整備等による利便性向上の検討

